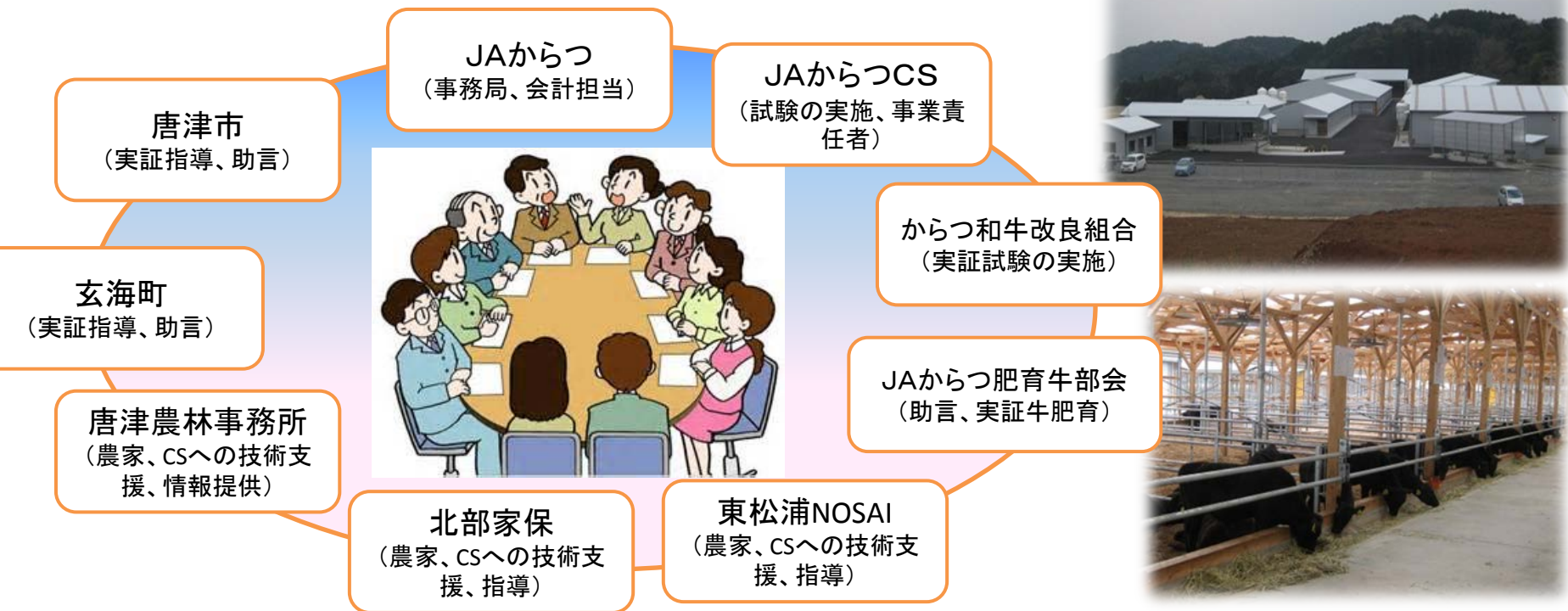


## JAからつキャトルステーション利用検討委員会

新たな衛生対策を導入し事故率を低減することにより、肥育農家が求める優良な肥育素牛を生産し、施設利用農家の収益性向上を実現



### 【実証内容】

子牛の発育不良や事故を防止するため、CSでモデル的に新たなワクチンプログラムを実証する

この結果を踏まえ、地域の子牛の発育・品質の向上や事故率の低減を図る

### 【効果】

- ①子牛の市場販売価格の向上  
市場比96%→103%(7ポイント向上)
- ②子牛の事故率の低減  
2.3%→1.5%  
(0.8ポイント低減)

農家の収益性が  
34,354千円アップ  
(593,149円/頭×7%×840頭×98.5%)